

廃校を有効活用した地域活性化

2年1組 坂嶋 心優 2年2組 永樂陽奈子
 2年2組 高田 涼 2年2組 遠山 彩結
 指導者 尾崎慎太郎

1 研究のテーマと目的

(1) 研究の動機

全国・愛媛県の廃校の活用状況を調べたところ、全国に比べて愛媛県は廃校の利活用率が極めて低いことが分かった。全国的に増加している廃校の利活用について調査し、現状や過去の実践例を踏まえ、廃校の有効活用に向けた解決策を考えたいと思い、本研究を行った。

(2) 愛媛県宇和島市が抱える現状

図1より、宇和島市の人口は過去20年間で約2万5000人減少している。図2より、宇和島市を訪れる観光客の約半数が50代以上となっており、若者や家族連れが少なくなっている。このことから、私たちは若者やファミリー層をターゲットとして研究をすることにした。

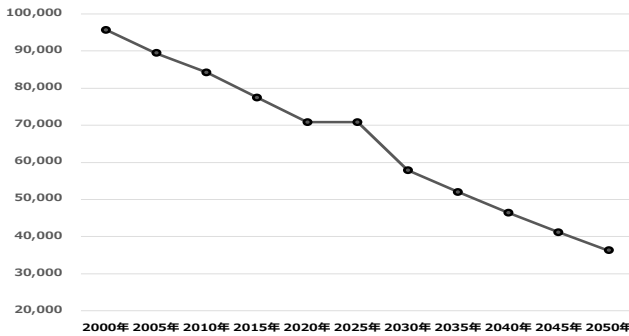


図1 宇和島市の総人口推移

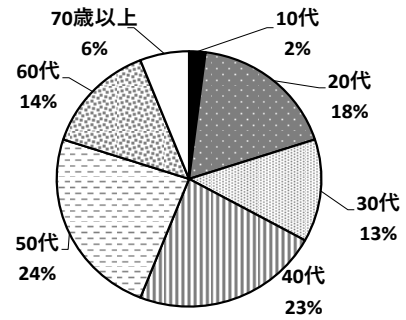


図2 宇和島市の観光客の年代別割合

図3と図4を比較してみると、宇和島市の地域経済循環率は75.5%であるのに対し、松山市は89.7%となっていることが分かる。その要因は、支出において地域外への流出が、宇和島市は極めて大きくなっていることだと考えられる。

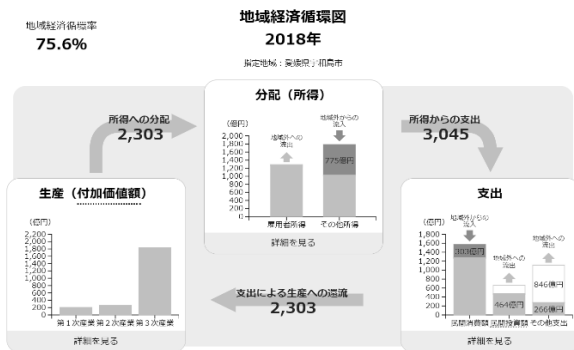


図3 宇和島市の地域経済循環図

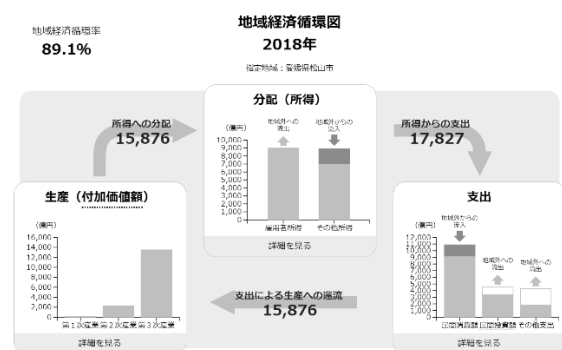


図4 松山市の地域経済循環図

2 研究の対象

上記の研究目的を達成するために、まず宇和島市の現状を調べて、分析を行った。それらのデータを用いて、宇和島市から廃校を利用した地域活性化ができるのではないかと考察し、沿岸に位置し、自然豊かで魅力的な宇和島市立宇和海中学校の利活用について考えた。

3 データ分析の結果

全国の廃校利活用率を調べたところ、廃校の活用用途が決まっていない割合は、全国が約19%なのに対して（図5）、愛媛県は約30%である（図6）。この結果から、全国に比べて、愛媛県が廃校の利活用率が極めて低いことが分かった。また、宇和島市の廃校数は、令和5年度現在で10校ある。宇和島市は、ホームページにて、廃校跡地施設の利活用申請を公募中であることから、廃校を活用した地域活性化ができないかと考えた。

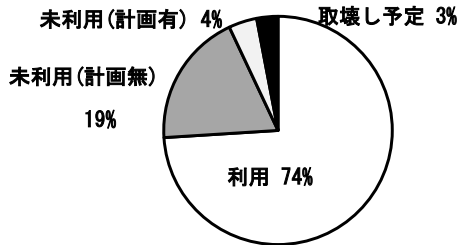


図5 全国の廃校活用状況

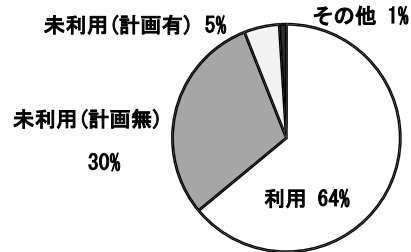


図6 愛媛県の廃校活用状況

4 活用方法の検討

(1) キャンプ場の設置

図7の観光庁のデータによると、キャンプ場利用率はこの10年間で約3倍になっている。このことから、宇和海中学校を「ゆめうみ」というキャンプ場として利活用できないかを検討した。Instagramに「#みんなでゆめうみ」をつけて投稿すると、次回の宿泊料10%割引という特典や、ピザ窯でのピザ作り体験・作物の収穫体験なども検討している。

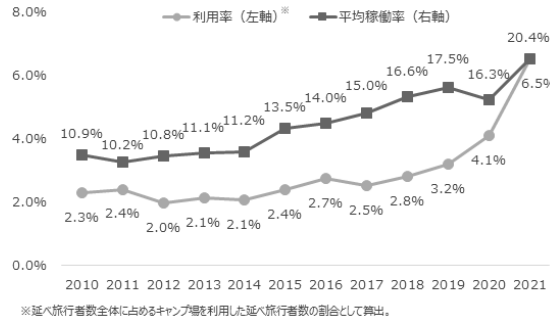


図7 キャンプ場利用率と平均稼働率

(2) 損益分岐点

収入計算書(図8)と損益分岐点(図9)を計算してみた。キャンプ場入場料、宿泊料、収穫体験料、ピザ作り体験料を収入とする。また、クラウドファンディングに出資していただいた方へのリターン料も支出に入れている。図9からより、34人が損益分岐点になる。

		単価	数量	合計
収入	売上			
	入場料	¥1,000	100	¥100,000
	宿泊料	¥3,000	100	¥300,000
	作物収穫体験料	¥500	50	¥25,000
	ピザ作り体験料	¥1,000	50	¥50,000
	小計			¥475,000
費用	人件費	¥10,000	20	¥200,000
	作物材料費	¥300	50	¥15,000
	ピザ材料費	¥700	50	¥35,000
	リターン料			¥30,000
	リース料			¥10,000
	小計			¥290,000
収支				¥185,000

図8 収支計算書

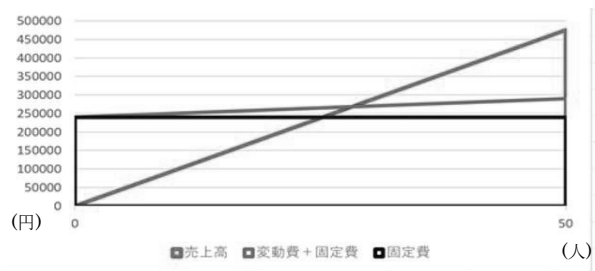


図9 損益分岐点

5 考察

以上の分析結果から、このプロジェクトを実施することで、SDGsの問題解決だけでなく、宇和島市の歴史ある第一次産業の活性化と宇和島市の経済発展や観光業の発展が期待できる。地域と本プロジェクトを共有して、実現に向けて歩みを進めていくことが今後の展望となる。

6 参考文献

- ・宇和島市観光物産協会アンケート結果. 2022, RESAS 地域経済分析システム. 2018, 文部科学省「廃校施設等活用実態調査」. 2021, 公益財団法人えひめ地域活力創造センター「舞たうん」. 2017, 観光庁「旅行・観光消費動向調査」. 2021